

献 辞

経済学会では古稀を迎えられた先生をお祝いして記念の論文集を編集してきました。

田口芳弘先生は昨年9月にめでたく古稀を迎えられました。心からお喜び申し上げます。この記念論文集は田口先生に縁の人々によってお祝いと感謝の意をこめて、ささやかではありますが、先生に捧げられた論文集であります。

先生のご経歴、大学における研究と教育、さらに学会へのご貢献については本号にも紹介されており、それ以上の言葉は必要ないものと思います。先生の同志社大学での教歴は昭和28年に専任講師として赴任された時から始まります。経済学部での教育や研究のかたわら、大学においても先生は電子計算機設置準備委員会委員を務められ、同志社の今でいう情報化の一步を進めることにご尽力をつくされました。さらに、アメリカ研究所の各種委員会の委員や京都アメリカ研究夏期セミナーの実行委員会委員等を通して同志社大学の特色ある研究分野であるアメリカ研究にも心血を注がれました。また、先生自らがアメリカ研究の第一人者として数々の業績をあげられたことは言うまでもありません。先生は国際交流委員会委員としても同志社の国際交流にも貢献されました。

こう述べてまいりますと、先生は今日益々重要性を増してきた同志社の情報化と国際化に先鞭をつけてこられたと言えましょう。先生の視野の広さを示すような気がします。

先生はこの3月末日をもって定年退職により同志社大学を去られることになりました。誠に残念で、惜別の情を禁じえません。淋しさもひとしおであります。ここにあらためて、先生の学内外での公私にわたるご温情とご指導に感謝いたしますとともに、これからも益々ご健康にてご活躍下さいませよう、心から祈念する次第です。

1996年2月

経済学部長 郡 篤 孝